

松山市 堀江地区

～学校と家庭・地域社会との連携・融合と住民主体の自治組織の設立～

● 集落の概要

地名は、堀（地を細長く掘り、水を通したもの）のある入り江ということから、名づけられたと言われており、堀江町、福角町、権現町、東大栗町、内宮町の五町から構成されています。（昭和17年、市域の大字を廃止し、大字堀江は堀江町、大字福角は福角町、大字権現は権現町、大字大栗は市内にすでに小栗町があったため、東大栗町。また、この時、大字大内平田、大字福角、大字馬木の一部をもって内宮町が誕生。）

面積 12.91 km

人口・世帯数(H.24年1月1日推計)11,577名、4,403世帯



児童代表による意見交換会

● 集落の活動内容

① 取り組み内容

学校と家庭・地域社会との連携・融合（学社融合）に基づく、泥んこゲーム大会やふれ愛自遊体験等の実施、また住民主体のまちづくりおこなう自治組織（堀江地区まちづくりコミュニティ会議）や「ほりえみらいくらぶ」を設立し、様々な活動を行っています。

② 成果

学校と地域社会の結びつきが強くなり、連携して青少年の育成を図ることができ、またボランティア活動をおこなう地元青壮年の住民がまちづくりに参加する機会が増えました。

③ 課題

各組織構成員の高齢化が顕著であるため、更なる青壮年世代の地域活動参加を呼び掛ける手法を考える必要があります。

④ 今後のビジョン、目標

生きがいと愛着、誇りを持てるまちづくりや、学社融合による青少年の育成を地域全体でおこないます。



堀江小学校での読み聞かせ

● 活動主体

堀江地区まちづくりコミュニティ会議

【PRコメント】

まちづくりや学社融合の青少年育成に、地域をあげて取り組んでいます。海があり、山もある自然環境も素晴らしい堀江に、どうぞお越しください！



どろんこゲーム大会

● ホームページリンク

“ふるさとほりえブログ”

URL <http://blog.goo.ne.jp/i-love-horie>